

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

## 国政に対する基本的な考え方

### 岡本みつなり

### たるい良和

### えびさわ由紀

#### 目指すべき将来像

持続可能で活力ある日本を創るため所得向上や教育・社会保障サービスの充実、最新技術の活用を通じて生活の満足度を高める。女性や若者の声を更に政治に反映させ高齢者や障がい者など誰もが互いに支え合える環境を整える。年齢、性別、所得、地域等の違いにかかわらず一人一人が自分らしく活躍できる社会の構築を目指す。

消費税減税、積極財政で経済を再生し、円高で海外に流出した国内製造業を再集約、ゲームチェンジャーのイノベーションを起こし、AIとロボット技術の利用による労働力不足の解消と少子高齢化対策、そして電子マネーを駆使したベーシックインカムを導入により、誰もが本当の自分で生き抜ける、経済的に自由な明るい社会。

安定した社会保障、活力のある経済、確かな防衛力の下で、全世代が安心、安全に暮らせる強靱な国を目指す。技術革新による生産効率の向上と古いルールの見直しで少子高齢化という厳しい課題を乗り越え、日本を世界を牽引する国に復活させる。ハードパワー、ソフトパワー両面の力で世界に尊敬され目標とされる国となる。

#### 現状認識

約30年続いたデフレ型経済から成長型経済へと移行する大きなチャンスを迎えていると認識。また、2040年に向けて、高齢者数の増加と現役世代の急減が見込まれており、今はこれに待ったをかけられるラストチャンスと捉えている。同時に、気候変動に伴い激甚・頻発化する自然災害への対応も急務。

日本はかつて製造業大国でしたが、製造業が海外に流出。IT産業はGAFAMに席卷され、人口減少と外国人依存が進んでいます。リーダーの資質も低下し、中抜き経済が広がる中で、厚みのあった中間層が困窮し、将来不安でどんよりしている。

極端な少子高齢化を迎えて、戦後の高度成長時代に作り上げた社会構造や統治機構が時代遅れになってきている。将来の社会保障に不安を抱える。世界的には、冷戦時代からアメリカ強の時代を経て、中国やロシアのような権威主義の国の台頭で秩序が不安定な時代であるが、安全保障面で世界の流れに出遅れている状況。

#### 解決したい課題

まず、物価高を克服する持続的な賃上げ、生産性向上や人手不足への取り組みが喫緊の課題。教育・子育て支援を我が国の政策の柱に位置付けて、安心して子どもを産み育てられる環境作りが急務。豪雨災害や首都圏直下型・南海トラフ地震に対して万全の備えをすべく、防災・減災対策の強化が不可欠。

国民負担率の引き下げ・製造業のサプライチェーン国内への再構築・イノベーションによる産業の巻き返し・食料自給率の向上・自分の国は自分で守る現実的な安全保障・現実的なエネルギー政策・日本の誇りを取り戻します。

なんといっても年金、医療などの社会保障制度を持続可能にするための抜本的改革。世界情勢に合わせ安全保障を安定したものにするために軍事力をNATO基準で世界標準に近づける。経済においては、新興国の台頭や覇権争いに負けないよう、日本の得意分野であるはずの技術革新を通じて生産性の向上が必要。

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

## 国政に対する基本的な考え方

### 木村たけつか

### 鈴木けんいち

#### 目指すべき将来像

社会的な格差是正と「分厚い中間層」の復活を掲げ、安定した持続可能な経済成長を実現し、国民全体が安心して暮らせる社会を目指す。帰結として、教育格差の縮小及び高齢者の生活安定・不安解消につながり、誰もが地域社会で活躍できる社会が構築され、日本全体に活力を創出することが日本の地域再生につながる。

暮らし優先の政治で、医療・社会保障の充実し、人間らしい働き方で、暮らしに希望を持てる社会を実現する。食料自給率、エネルギー自給率を抜本的にたかめ、脱炭素・脱原発による気候危機の打開、ジェンダー平等に積極的に取り組み、憲法9条を生かした平和外交・軍縮でアジアと世界の平和に貢献する日本をつくる。

#### 現状認識

自公政権による新自由主義政策によって所得格差・教育格差が拡大し、中間層が失われ将来的な社会不安が拡大した事は、日本の国力衰退に紐づく社会課題である。また、昨今の裏金問題に象徴される企業献金等で政治が金で歪まされる事で政治不信が蔓延し、国民の政治的関心が薄れ、民主主義の機能が損なわれている現状である。

モノ、カネだけでなく自由な時間も削られて大企業優先の政治で、賃金は減り続け、大企業の内部留保は膨らみつつ、格差と貧困が拡大している。賃金の上がない国と度重なる消費税の増税で国内消費の冷え込みが日本経済を停滞させている。日米同盟絶対が、軍事費の増大、日米地位協定の改訂の壁になっている。

#### 解決したい課題

昨今の政治不信から国民的信頼を取り戻す事が喫緊の課題だと認識している。裏金や政治腐敗、世襲政治、既得権益の利益誘導を無くす事を最優事項に掲げる。拡大し続ける格差是正に向けて「分厚い中間層」を復活させる事が何よりも求められる。将来世代への責任として、気候変動対策に向けて、予算を増加させ万全な対策をする。

賃上げは民間まかせで進んでいない。中小企業を直接支援し、最低賃金の引き上げ自給1500円を政治の責任で実現する。若年層と高齢者層を対立させての負担の押し付け合いではなく大企業・富裕層に応分の負担と国の教育・社会保障の予算の抜本的な増額とジェンダー平等の推進で次の世代に安心の社会を渡していく。

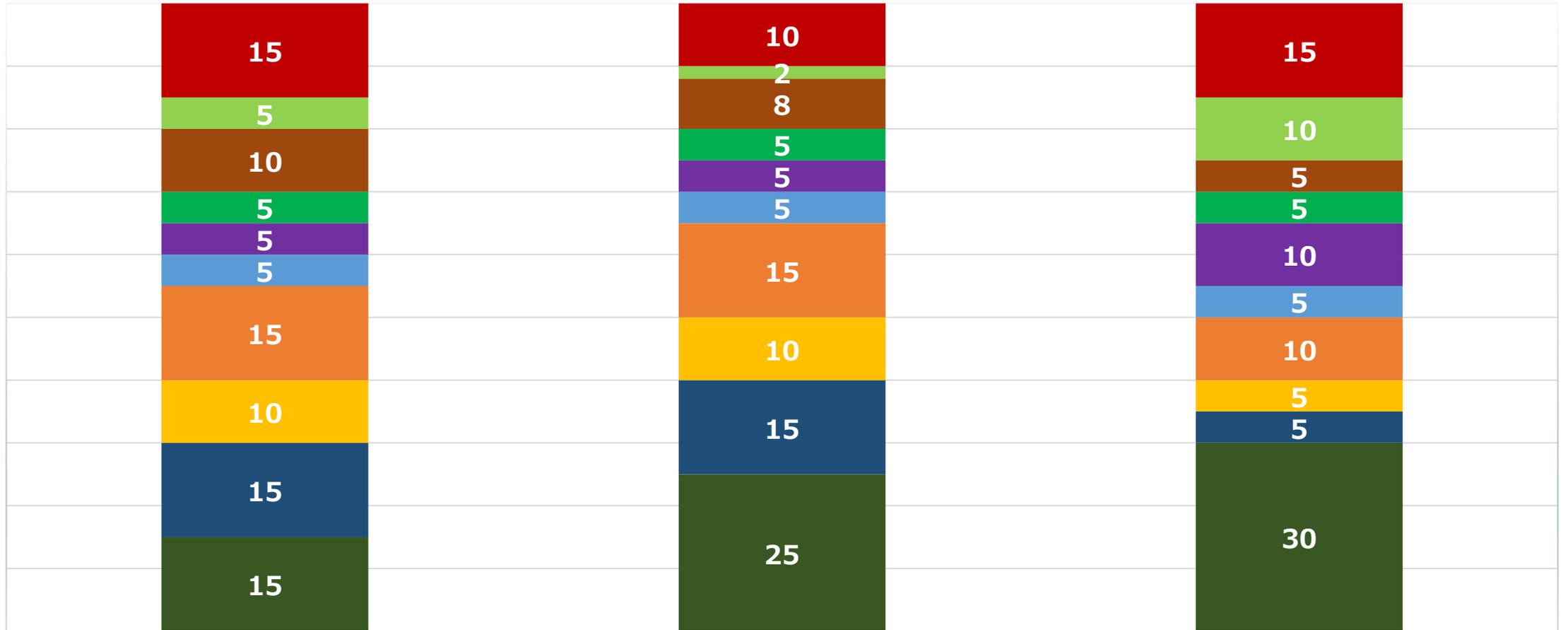
# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野へ）の配分

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀



■ 社会保障

■ 産業政策

■ 社会資本整備

■ 教育・子育て

■ 農林漁業

■ 税財政・財政再建

■ 労働

■ 環境・エネルギー

■ 行政・議会改革

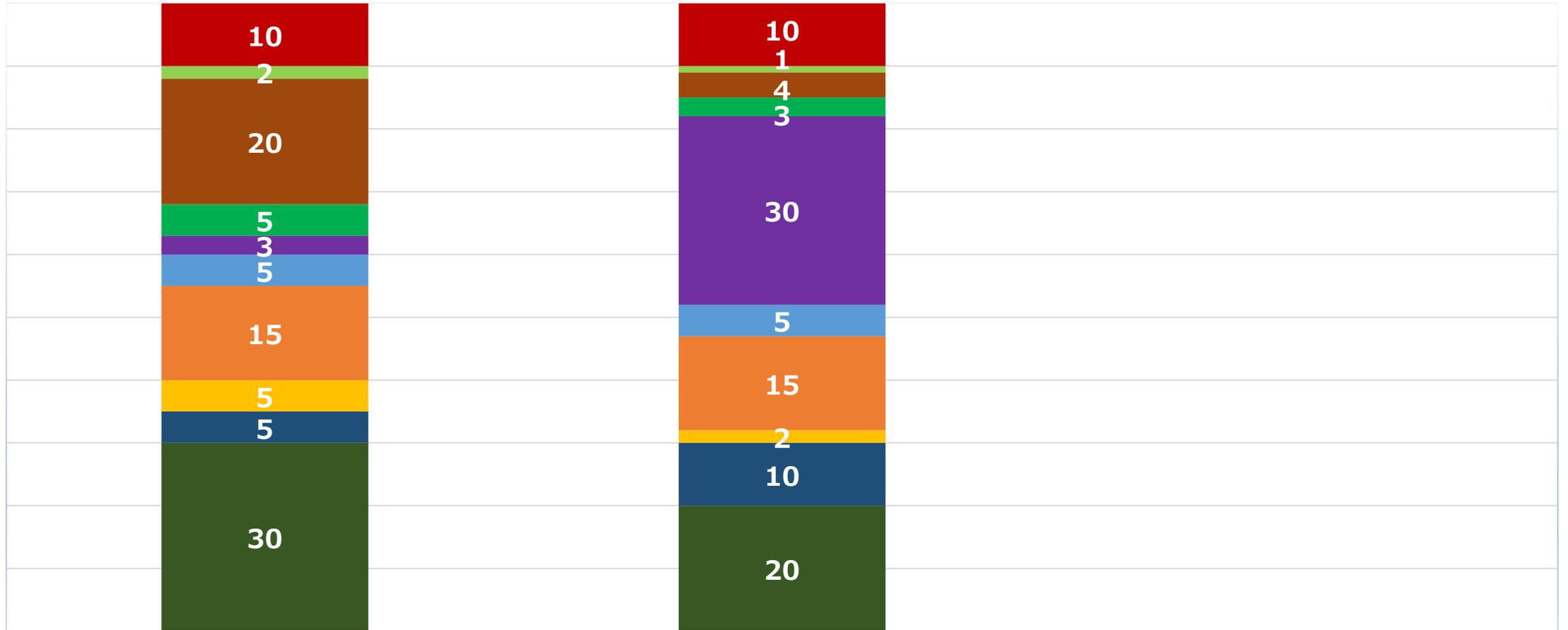
■ 安全・防災・震災復興

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

政策分野の注力度（予算を100ポイント持っているとしたときに、各分野へ）の配分

## 木村たけつか

## 鈴木けんいち



- 社会保障
- 税財政・財政再建
- 産業政策
- 労働
- 社会資本整備
- 環境・エネルギー
- 教育・子育て
- 行政・議会改革
- 農林漁業
- 安全・防災・震災復興

**課題を解決するための重要政策**

**第1優先**

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **1** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

政策

持続的な賃金上昇型の  
経済をつくる

手取りを増やす

社会保障制度の  
抜本的改革

数値  
目標

物価高を上回る  
賃金上昇を実現

手取りが増えれば、  
消費が増え、  
結果、景気回復により  
税収減にはならない

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **1** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

## 木村たけつか

## 鈴木けんいち

政策

消費税減税による  
物価高騰対策、  
税による逆進性の是正、  
個人消費の活性化、  
分離課税から  
総合課税への転換

裏金問題の真相究明と  
企業・団体献金の禁止

数値  
目標

3年以内に実質賃金の  
向上によるGDPの上昇及び  
中間層の拡充

裏金問題の全容解明、  
企業・団体献金禁止の  
法制化

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**1**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

期限

2027年

分野

産業政策

税財政・財政再建

社会保障

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **1** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

**木村たけつか**

**鈴木けんいち**

期限

急激な物価高騰による  
実質賃金の低下が  
収まり、実質賃金が  
堅調に持続する事が  
確実な状況になるまで

2025年3月

分野

税財政・  
財政再建

行政・議会改革

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**1** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

予算

3年間で5000億円

手段

物価上昇を上回る賃金アップに向け、特に中小企業が賃上げを可能にする為の予算・税制支援を行う。まずは物価高による家計負担を減らす等、経済対策を年内に策定。その上で最低賃金の引き上げを継続し、5年以内に全国加重平均1500円実現を目指す。「年収の壁」の解消、「買ったたき」禁止へ下請け法改正などを行う。

消費税を実質賃金が持続的にプラスになるまで減税し、インボイス制度を廃止。基礎控除を103万円から178万円に引き上げます。トリガー条項の凍結解除と二重課税の廃止でガソリン代を、再エネ賦課金の停止で電気代を引き下げる。

持続可能な医療体制の構築。具体的にはHTAの導入と医療DXによる治療効果への評価を中心とする効率化、医療へのアクセス制限と全世代への負担率を同じにすることによるモラルハザードの解消。治療結果が縦覧できるようマイナ保険証への完全な切替。年金は抜本改革により最低保証制度を導入する方向性で抜本的改革。

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **1** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

**木村たけつか**

**鈴木けんいち**

予算

財源については景気動向によって  
税金に対する不確実性が  
あるため现阶段では指し示すこと  
は困難であるが、税金弾性値に  
よって税金の上振れも生じる  
可能性が非常に高いと考えられる

特に必要なし

手段

消費税の引き下げを実施し、特に生活に  
必要な物品に対する消費税の軽減を進め、  
低所得層への負担を軽減し、消費の  
活性化を促す。所得の再分配機能強化の  
為、現在の分離課税から所得全体を対象と  
した総合課税へ転換し、所得格差の縮小  
及び公平な税負担を実現する。税制改革  
により「分厚い中間層」の復活を目指す。

国会に特別委員会を  
設置し、集中的・徹底的  
に調査・検を行う。

**課題を解決するための重要政策**

**第2 優先**

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

政策

教育を柱に、  
世界一子育てしやすい  
日本へ

日本の産業の  
巻き返しを図る

防衛予算を世界標準に

数値  
目標

出生率の低下に  
歯止めをかける

全て国が移設費用を  
賄おうとすれば  
5兆円規模（税制優遇  
なども手段として行使）

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 2 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

## 木村たけつか

## 鈴木けんいち

政策

紙の健康保険証の存続、  
保育・介護・福祉の待遇改善、  
介護サービスの充実、  
低所得者向け  
年金加算制度の拡充

最低賃金を時給 1 5 0 0 円  
以上に引き上げる

数値  
目標

政策を実施する前に数値を示す  
事は困難であるが、介護難民の  
数値を現状よりも低下させる、  
介護離職者の比率を  
民間事業者並み以下にする

年次改革を立て、最賃を  
1 5 0 0 円以上に引き上げる

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**2**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

期限

2030年代

2030年まで

分野

教育・子育て

産業政策

安全・防災・  
震災復興

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**2**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

木村たけつか

鈴木けんいち

期限

直ちに

2030年まで

分野

社会保障

産業政策

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第2 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

予算

まずは6年間で  
約30兆円

手段

出産費用の実質無償化など、妊娠・出産・産後の支援策をさらに強化。大学などの無償化を目指し、授業料の減免と給付型奨学金の対象者や給付額を拡大、奨学金の返還を支援。高校授業料の所得制限を撤廃し、国公立を問わず実質無償化するなど、多面的施策により、教育・子育て支援を我が国の政策の柱に位置付ける。

円高で海外に流出した産業を、円安を逆手にとって国内に取り戻します。  
サプライチェーンの国内へ再構築し、最先端のゲームチェンジャーとなる技術への集中投資を行う。

防衛費はNATO基準で対GDP比2%とする。日米安保の強化とともにアジアの近隣地域の同じ民主的価値観を共有できる国々との連携を強化する。自衛隊を憲法に明記するための憲法改正を机上に上げる。ソフトパワー向上のため、経済援助やバランスの良い国際的リーダーシップを考慮した安定した外交政策を進める。

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 2 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

## 木村たけつか

## 鈴木けんいち

予算

優先順位によって予算の  
総入れ替えをするので  
予算査定によって変動がある

10兆円

手段

デジタル化に対応が困難な高齢者等に対し  
利便性や多様な選択肢を損なわないよう紙  
の健康保険証を存続し、国民の不安を払  
拭する。介護士等の待遇改善を実施し、介  
護離職をなくすため、訪問介護の報酬引き  
下げを見直し介護の質を向上させる。低年  
金者に対して一定額を上乗せする制度を導  
入し、老後の生活の安定を図る

中小企業への直接支援を行う。  
539兆円の膨れ上がった大企  
業の内部留保に時限的（5年  
間）に課税して10兆円の財源  
を確保する。

**課題を解決するための重要政策**

**第3 優先**

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

政策

安全・安心の  
防災大国をつくる

ベーシックインカムを導入

教育費無償化

数値  
目標

ハード・ソフト両面の  
防災・減災インフラを  
つくる

自動化技術から  
得られる収益を  
原資として支給する

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **3** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

## 木村たけつか

## 鈴木けんいち

政策

全国自治体の給食費の無償化、  
国公立大学の授業料無償化、  
児童手当の拡充、少人数学級の  
推進、就学前教育・保育の  
無償化、奨学金返済の支援

物価高騰にふさわしい年金  
引き上げと介護保険制度の改善  
など、高齢者の人権と尊厳を  
守るための緊急対策

数値  
目標

**OECDの教育予算  
順位を10位以内にする**

物価の値上がりや賃金の上昇に  
追いつかせる年金額の引き上げ。  
介護職員の賃上げと労働条件の  
改善、介護報酬の底上げなど

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

期限

2030年まで

分野

安全・防災・  
震災復興

社会保障

教育・子育て

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3**優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

木村たけつか

鈴木けんいち

期限

できる限り  
早期に

2025年3月

分野

教育・子育て

社会保障

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第**3** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

岡本みつなり

たるい良和

えびさわ由紀

予算

5年で20兆円規模

手段

まずは能登半島地震からの復旧・復興を加速。災害に強い国土の実現と経済活性化を両立させる令和版「防災・減災ニューディール」を創設。激甚化する豪雨災害、首都圏直下地震などに対処する為、道路、橋梁、上下水道などのインフラ整備や木密対策のため、新たな国土強靱化計画に基づく「実施中期計画」を年度内に策定する。

自動化技術から得られる収益を原資として、全ての国民に安定した収入を支給するベーシックインカムを導入します。使い切り型の電子マネーを給付し、経済的に自由な明るい社会、すべての人が安心して生活できる社会を実現します。

少子化対策の一環として所得制限のない教育の完全無償化を幼児教育から高校まで全教育課程において達成する。塾代の補助などの目的で教育バウチャーを発行し、所得や家庭環境に左右されない公平な教育システムを構築する。バウチャー等による出産費用の無償化。

# 衆議院議員選挙 ネット討論会 政策比較

課題を解決するための重要政策 第 **3** 優先（「政策分野の注力度」の中で選ぶ）

**木村たけつか**

**鈴木けんいち**

予算

優先順位によって予算の  
総入れ替えをするので  
予算査定によって  
変動がある

年金額の引き上げは、  
290兆円の積立金を  
活用する

手段

全国の公立小中学校の給食費を無償化する。国公立大学の授業料を無償化及び私立大学・専門学校にも同等の負担軽減を実施する。1人当たり月額1万5千円の児童手当を支給する。少人数学級をさらに推進し、教員の処遇改善と長時間労働の是正、教育の質を向上させる。給付型奨学金の拡充を進め、返還免除制度を拡充する

財源は、大企業と富裕層  
の優遇税制を改めること  
で生み出せる